

# 愛媛県立中央病院東洋医学研究所活動報告

所長	山岡 傳一郎
医師	田中 公仁康
非常勤	光藤 英彦 (前所長)
非常勤	高橋 甫
鍼灸部	山見 宝
	真鍋 昭生
	中島 貴和
	谷村 依里
	大塚 素子
	寺阪 嘉峰
	岩切 俊人
	芦井 新蔵
	脇口 典子 (3月退職)
	松原 里美 (3月退職)
	村上 哲哉 (3月退職)
薬局	赤崎 達子
	山口 祐子 (3月転出)
看護部	大下 由美
事務	中田 美紀 (4月から)
	島矢 真里 (3月退職)

## 1. 研究所概要と診療状況

昨年、東洋医学研究所は30周年を迎えた。研究所窓の外では、3年後に開院予定の新愛媛県立中央病院の建設が進んでいる。私ども東洋医学研究所も新病院の新体制に向かうため気分を一新し、前所長光藤からのイデオロギーを継承しつつ、山岡を中心に新たな東洋医学研究所を創造し40周年・50周年へと歩んでいくための構造改革を開始した。

第1に、小児科医、田中公仁康を迎え小児から高齢者まで幅広く対応できる土台を作り、鍼灸部も山見を中心に古代4刺法(虚法・実法・除法・切法)とともに、小児鍼・接触鍼などの研究を開始した。第2に鍼灸師も隣接する県立中央病院の勉強会にも参加し、コメディカルではなく、メディカルスタッフとしての自覚を養う訓練を開始。

第3に各鍼灸師に役割を与え、リーダーとして自覚させ、地域で貢献できるよう訓練を開始。

第4に鍼灸技術研修生育成も14年目を迎え育成から共同研究者になるための一歩進んだ育成プラン導入を開始。

これらは、地域のリーダーとして活躍し医師をサポートできる鍼灸師を育成することが目的である。

以下、研究所概要を記載する。

現在私共の病院には240人余りの医師がいる。多くの医師は日常診療で漢方薬を処方するようになった。さらに鍼灸も指導できる医師も増えつつある。ブームとしての東洋医学は終わったが、医師不足、看護師不足、医療資源不足の現代においても、東洋医学を医療の中で運用する意義が残っていることを日々私共は実感している。多くの患者が殺到する病院で、かつての「3時間待ち3分間診療」以上に診療時間は短縮し、検査や投薬は増えるが医療の本質である、癒しや見立て(診断と予後推定)のレベルは向上しにくい。新医師臨床研修制度が開始され、すべての医師が基本的療能力(プライマリーケア能力)や医師としての人格の涵養を求められている今日こそ、心身一如として作用し、しかも効率的である東洋医学が必要であると考え。医学部のコア・カリキュラムに東洋医学(「和漢薬の概説」)が取り上げられたことも適切であると思われる。東洋医学の担い手は勿論医師だけではない。近年、鍼灸師養成機関(鍼灸大学など)が増加し、多くの鍼灸師が生まれるようになった。しかし、医師と同様に卒後研修が不可欠であることが指摘される。私共は平成9年から、鍼灸卒後研修プログラムをつくり指導に当たっている。最近では、医師不足が深刻な地域医療機関で筋骨格系の問題(腰痛や膝痛)をかかえる多くの患者をケアしなければならない医師を鍼灸師が支援する活動を行っている。私共の研究所で短期研修を受けた整形外科医(自治医大卒10年目)が地域に派遣された際に、その医療活動を支援するために鍼灸師を毎月2-4日派遣するようになった。住民には非常に好評であり、今後も継続拡大していく予定である。

私共の将来目標は、『10年先に、総合診療能力を兼ね備えた適格医師100人と、医師と協力できる適切な能力をもった適格鍼灸師100人を愛媛で育てるようにすること』(10-100-100プラン)である。なお、薬剤師や看護師、および介護にあたるスタッフに東洋医学のエッセンスを伝えることができればよいと考えている。

私共研究所で開発し、実践してきた下記の事項を以上の目的に役立てたい。

- 1) 時系列分析法の開発
- 2) 慢性健康障害患者(QOL障害患者)への東洋医学の運用
- 3) 穴位主治症の研究(明堂経の復元)

- 4) 古代の四刺法(虚法・泄法・除法・実法)の復元
- 5) 鍼灸卒後研修プログラム/東洋医学専攻医プログラム
- 6) 地域におけるヘルスプロモーション/鍼灸師による僻地医師の活動支援
- 7) 病棟での鍼灸運用  
(Baby Friendly Hospitalにおける乳汁分泌促進支援)  
(退院支援プログラム)(がん患者の緩和医療)
- 8) 小児鍼灸への取り組み

また、私共の病院では多忙を極める診療の中で、体調維持、健康増進のために時間をつくるのが難しいスタッフのために、院内アメニティーとしての『東洋医学体験コーナー』を設置している。今年度から毎月、2回に東洋医学の体験ができるコーナーを拡大し、院内LANで職員に周知し、希望者に鍼灸治療を行っており、評判も上々である。平成21年は241名・平成22年は250名のスタッフに体験していただいた。病院職員のアメニティーの場、職員の健康増進の場、および東洋医学に親しんで頂く場として運営している。東医研スタッフのボランティア精神育成と研修鍼灸師の研修の場としても勿論役立っている。

これからの東洋医学推進事業はスタッフだけでは難しく、当研究所OB・研修鍼灸師OB・医療関係者と定期的に連絡しあいチームとしての結束し推進することが重要であると思われる。下記に2010年のシンポジウム・教育講演の等の報告を記載する。

## 2, シンポジウム・学会報告・講演会など

### ◇原著

- 1) 山岡傳一郎・大宮由起子(元研修鍼灸師):不妊・不育についての東洋医学的一考察、特集臨床シリーズ、不妊症と不育証、鍼灸OSAKA、vol.26. No.3。2010.8
- 2) 真鍋 昭生:「えひめ東医研における糖尿病治療」医道の日本社「医道の日本」Vol.69 No.10 P.31-37

### ◇特別講演・教育講演

- 1) 山岡傳一郎:各科で役立つ漢方ア・ラ・カルト、第8回香川漢方研究会 香川大学医学部 2010. 2. 2
- 2) 山岡傳一郎:医師にもできる鍼灸、医師ができる鍼灸、医師しかできない鍼灸、日本東洋医学会九州支部熊本県部会 2010. 2. 6
- 3) 山岡傳一郎:総合病院における統合医療の実践、兵庫・大阪・京都合同教育講演会、2010. 2. 21、神戸市産業振興センター・ハーバーホール

- 4) 山岡傳一郎:流感(インフルエンザ)と東洋医学、日本東洋医学会岡山県部会 岡山衛生会館 2010. 2. 28
- 5) 山岡傳一郎:消化器疾患と漢方薬～六君子湯と大建中湯を中心にして～松山市医師会 胃集検読影委員会 2010. 3. 23
- 6) 山岡傳一郎:漢方講義～各科で役立つ基本方剤の紹介～愛媛大学医学部漢方講義、2010. 4. 12
- 7) 山岡傳一郎:鍼灸実技一経穴の取り方一鍼灸モーニングセミナー1、第61回日本東洋医学会総会、名古屋国際会議場 2010. 6. 5
- 8) 山岡傳一郎:外来でできる鍼灸適応病態の診断と治療、第61回日本東洋医学会総会、名古屋国際会議場 2010. 6. 6
- 9) 山岡傳一郎:糖尿病と漢方、第4回四国漢方セミナー、香川、2010. 9. 25
- 10) 山岡傳一郎:東洋医学を導入した統合医療の実践-えひめ東医研の場合-、第59回全日本鍼灸学会、大阪国際会議場、2010. 6. 13
- 11) 山岡傳一郎:四国漢方セミナー～愛媛からの発信～、京都薬科大学、2010. 8. 29
- 12) 山岡傳一郎:医療現場で役立つ鍼灸～医師にもできる鍼灸、医師ができる鍼灸、医師しかできない鍼灸～、予防医療臨床研究会、東京 2010. 12. 26

### ◇一般講演

- 1) 岩切 俊人・大塚 素子・山岡 傳一郎:右肩から頸・頭への突き上げを主訴とする認知症患者の一症例。第41回日本東洋医学会中四国支部愛媛県部会。COMS・松山男女共同参画推進センター 2010, 9, 12
- 2) 芦井 新蔵・真鍋 昭生・田中 公仁康:母親の介護をする61歳女性の1症例。第41回日本東洋医学会中四国支部愛媛県部会。COMS・松山男女共同参画推進センター。2010, 9, 12
- 3) 田中 公仁康・芦井 新造・真鍋 昭生。気滞一腹壁裏面の腫瘤様抵抗物への考察。第41回日本東洋医学会中四国支部愛媛県部会。COMS・松山男女共同参画推進センター。2010, 9, 12
- 4) 山見 宝・寺阪 嘉峰・谷村 依里・山岡 傳一郎。えひめ東医研における鍼灸卒後研修の実際(1)-時系列分析および穴位反応分析を中心に-第59回(社)全日本鍼灸学会学術大会大阪大会 大阪国際会議場。2010, 6, 11～13
- 5) 山見 宝・寺阪 嘉峰・谷村 依里・山岡 傳一郎。鍼灸卒後研修の実際(感冒)。第19回刺絡学会大阪大会。森ノ宮医療学園専門学校。2010, 6, 26～27

- 6) 山見 宝。えひめ東医研における刺絡鍼法の実際日本刺絡学会大阪刺絡基礎講習会。森ノ宮医療専門学校。2010, 7, 11
- 7) 山見 宝・寺阪 嘉峰・山岡 傳一郎。卒後鍼灸技術研修を導入して。第48回愛媛県立病院学会。愛媛県女性総合センター。2010, 10, 30
- 8) 寺阪 嘉峰・谷村 依里・山見 宝・山岡 傳一郎。えひめ東医研における鍼灸師卒後研修の実際(2)-研修生の立場から臨床を通して(1)-。第59回(社)全日本鍼灸学会学術大会大阪大会。大阪国際会議場。2010, 6, 11 ~ 13
- 8) 寺阪 嘉峰・山見 宝・山岡 傳一郎。嚙下痛に対し少商・商陽の井穴刺絡が有効であった一症例。第19回刺絡学会大阪大会。森ノ宮医療学園専門学校 2010, 6, 26 ~ 27
- 9) 寺阪 嘉峰・山見 宝・山岡 傳一郎。自宅施灸と患者満足度について。第48回愛媛県立病院学会。愛媛県女性総合センター。2010, 10, 30
- 10) 谷村 依里・寺阪 嘉峰・山見 宝・山岡 傳一郎。えひめ東医研における鍼灸師卒後研修の実際(3)-研修生の立場から臨床を通して(2)。第59回(社)全日本鍼灸学会学術大会大阪大会。大阪国際会議場。2010, 6, 11 ~ 13
- 11) 谷村 依里・寺阪 嘉峰・山見 宝・山岡 傳一郎。眼症状に対して顔会の刺絡が有効であった一症。第19回刺絡学会大阪大会。森ノ宮医療学園専門学校。2010, 6, 26 ~ 27
- 12) 谷村 依里 山見 宝 山岡 傳一郎。治療方針を見直した結果、経過良好であった1症例。第41回日本東洋医学会中四国支部愛媛県部会。COMS・松山男女共同参画推進センター。2010, 9, 12
- 13) 大塚 素子・真鍋 昭生・山岡 傳一郎。肺アスペルギルス症に対する鍼灸治療の一症例。第61回日本東洋医学会学術総会。名古屋国際会議場。2010, 6, 4 ~ 6
- 14) 大塚 素子・山岡 傳一郎。妊娠悪阻と鍼灸治療。第41回日本東洋医学会中四国支部愛媛県部会。松山市男女共同参画推進センター。2010, 9, 12
- 15) 大塚 素子・山岡 傳一郎。澤田流特効穴ト癩について~復元主治条文からの検討~。日本鍼灸史学会。京都会館会議場。2010, 11, 20 ~ 21
- 16) 中島 貴和・山岡 傳一郎。高血圧症について。第41回日本東洋医学会中四国支部愛媛県部会。COMS・松山男女共同参画推進センター。2010, 9, 12
- 17) 中島 貴和・山岡 傳一郎。痛みについて-多発性硬化症の症例-。日本鍼灸史学会。京都会館会議場。2010, 11, 20 ~ 21
- 18) 真鍋 昭生・大塚 素子・山岡 傳一郎。易感冒を主訴とする80歳代男性の1症例。第61回日本東洋医学会学術総会。名古屋国際会議場。2010, 6, 4 ~ 6, 6
- 19) 真鍋 昭生 芦井 新蔵 田中 公仁康。心身症・不登校を併せ持つ13才男児の1症例。第41回日本東洋医学会中四国支部愛媛県部会。COMS・松山男女共同参画推進センター。2010, 9, 12
- 20) 真鍋 昭生・岩切 俊久・田中 公仁康。心身症・不登校を併せ持つ13才男児の1症例。第39回日本東洋医学会中四国支部総会岡山大会。岡山国際交流センター。2010, 10, 16
- 21) 真鍋 昭生・岩切 俊久・大塚 素子。お灸のすすめ実技講演。愛媛県高齢者大学校。2010, 7, 22
- 22) 真鍋 昭生・芦井 新蔵・山岡 傳一郎。お灸のすすめ実技講演。包括支援センター三津浜。2010, 8, 24
- 23) 真鍋 昭生。お灸のすすめ講演と実技指導。松山市役所介護保険課依頼。離島介護サービス事業として釣島にて講演。2010, 9, 4
- 24) 真鍋 昭生・岩切 俊久・芦井 新蔵。ツボについて実技講演。松山市包括支援センター依頼。雄郡公民館にて講演。2010, 10, 13
- 25) 芦井 新蔵・谷村 依里・真鍋 昭生・田中 公仁康。お灸支援活動。松山市役所介護保険課依頼。松山市離島介護支援サービスにて安居島で講演。2010, 10, 20
- 26) 真鍋 昭生・岩切 俊久。お灸のすすめ実技講演。地域包括支援センター城北より依頼。堀江公民館。2010, 11, 15
- 27) 芦井 新蔵・谷村 依里・真鍋 昭生。お灸支援活動。松山市役所介護保険課依頼。松山市離島介護支援サービスとして安居島で講演。2010, 11, 17
- 28) 中島 貴和・岩切 俊久。「鍼灸医学からみた肩こり」~実技も含めて~。松山市地域包括支援センター東・拓南より依頼。番長福祉センターにて講演。2010, 11, 17
- 29) 芦井 新蔵・大塚 素子。ツボとお灸(風邪と東洋医学)実技講演。松山市包括支援センター城西・勝山より依頼。土居田公民館にて講演。2010, 11, 22
- 30) 山岡傳一郎：患者中心の医療のための時系列分析システム、第42回日本医学教育学会、都市センターホテル、2010. 7. 30